



アドアーズ株式会社 2007年3月期 中間決算説明会



2006年11月30日(木)

アドアーズは、夢と感動あふれる“遊空間”の提供を通じて、
人々にうるおいと笑顔を運びます。

「あなたの笑顔のために」———

Create Happiness! それが私達の願いです。

JASDAQ :
4712

This program is brought to you by management planning division

本資料に掲載されている弊社の計画、予想などは、すでに確定した事実を除き、潜在的风险や不確定要素を含んでおり、その内容を保障するものではありません。したがって、実際の業績はこの配布資料に記載されている目標とは大きく異なる場合がありますことをご了承ください。

会社概要／大株主の状況

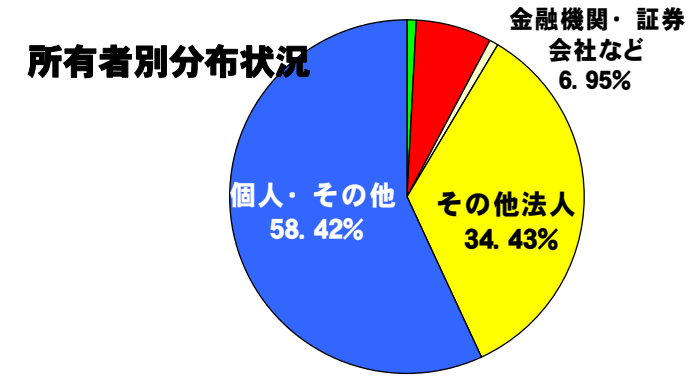
会社概要

商号	アドアーズ株式会社
設立	1967年12月
本社所在地	東京都中央区日本橋馬喰町2-1-3
資本金	40億円
発行済株式数	63,778,796株
上場取引所	ジャスダック証券取引所
従業員数	318名（社員） 890名（アルバイト等）
事業内容	アミューズメント施設の運営等

大株主の状況

（2006年9月30日現在）

株主名	所有株式数	持株比率
GF投資ファンド投資事業有限責任組合	20,500,000	32.14%
アルゼ株式会社	19,212,000	30.12%
日本証券金融株式会社	3,495,000	5.47%
鈴木昭作	1,629,486	2.55%
星久	1,243,924	1.95%
株式会社ヤマニ興業	624,460	0.97%
岡田浩明	606,000	0.95%
株式会社ハッチ東京	480,320	0.75%
財団法人嘯月美術館	417,000	0.65%
アドアーズ従業員持株会	392,000	0.61%



沿革

年	月	事項
1967年	12月	輸入娯楽機を中心としたゲーム機設置業を目的として、株式会社シグマを設立
1971年	12月	当社1号店『ゲームファンタジアミラノ店』開設（現存）
1972年	7月	ゲーム機器の自社開発を開始
1983年	10月	ゲーミングマシン製造業者ライセンスを取得 （株式公開準備のため1991年5月に返上）
1985年	7月	当時の室内アミューズメント施設としては世界最大級の床面積を誇る 『ゲームファンタジアサンシャイン店』開設（現存）
1998年	11月	日本証券業協会に株式を店頭登録（現ジャスダック証券取引所）
	2月	アルゼ株式会社の資本参加によりアルゼグループの一員となる
2000年	10月	株式会社シグマ（存続会社）、株式会社テクニカルマネジメント、 株式会社環デザインの3社が合併し、社名をアドアーズ株式会社に変更 アミューズメント機器の開発、製造、販売部門をアルゼ株式会社へ移管
	3月	筆頭株主（GF投資ファンド有限責任投資組合）及び 親会社（アルゼ株式会社）の異動が行われる
2006年	4月	当社最大の床面積を誇る『アドアーズ錦糸町店』を4月20日に開設
	8月	中国地方初出店となる『アドアーズ広島駅前店』を8月31日に開設

中間決算の概況／損益計算書(07年3月期中間実績)

2007年3月期・中間実績

(単位:百万円)

項目	2005年9月中間 実績	2006年3月期末 実績	2006年9月中間 実績	前期差 (百万円)	前期比 (%)
売上高	9,398	17,887	9,635	237	102.5%
売上原価	7,620	14,556	7,961	341	104.5%
売上総利益	1,778	3,331	1,673	-105	94.1%
営業利益	659	1,098	314	-345	47.6%
経常利益	705	1,046	315	-390	44.7%
当期純利益	164	190	127	-37	77.4%

中間業績推移

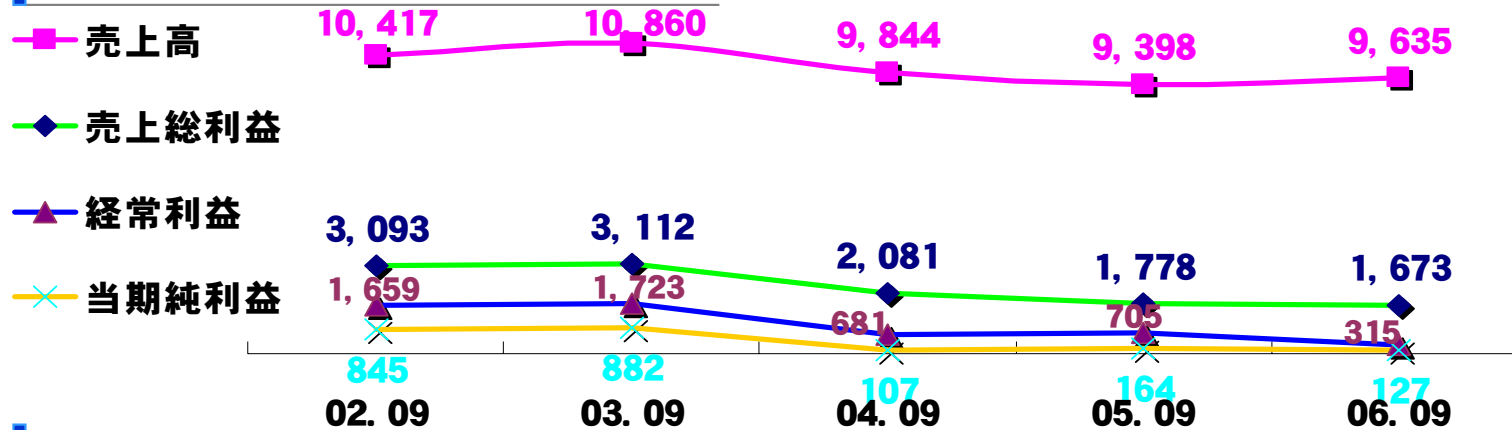
(単位:百万円)

	02.09	03.09	04.09	05.09	06.09
売上高	10,417	10,860	9,844	9,398	9,635
売上原価	7,324	7,748	7,762	7,620	7,961
売上総利益	3,093	3,112	2,081	1,778	1,673
営業利益	1,628	1,732	680	659	313
経常利益	1,659	1,723	681	705	315
当期純利益	845	882	107	164	127

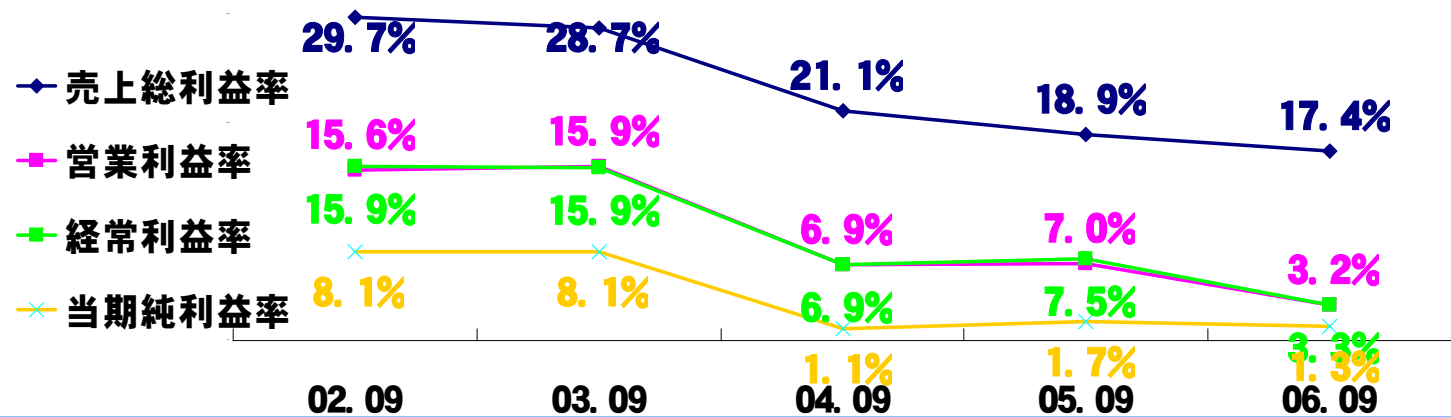
中間決算の概況／損益計算書(年度推移)

中間業績・売上推移グラフ

(単位:百万円)



中間業績・各種利益率推移グラフ

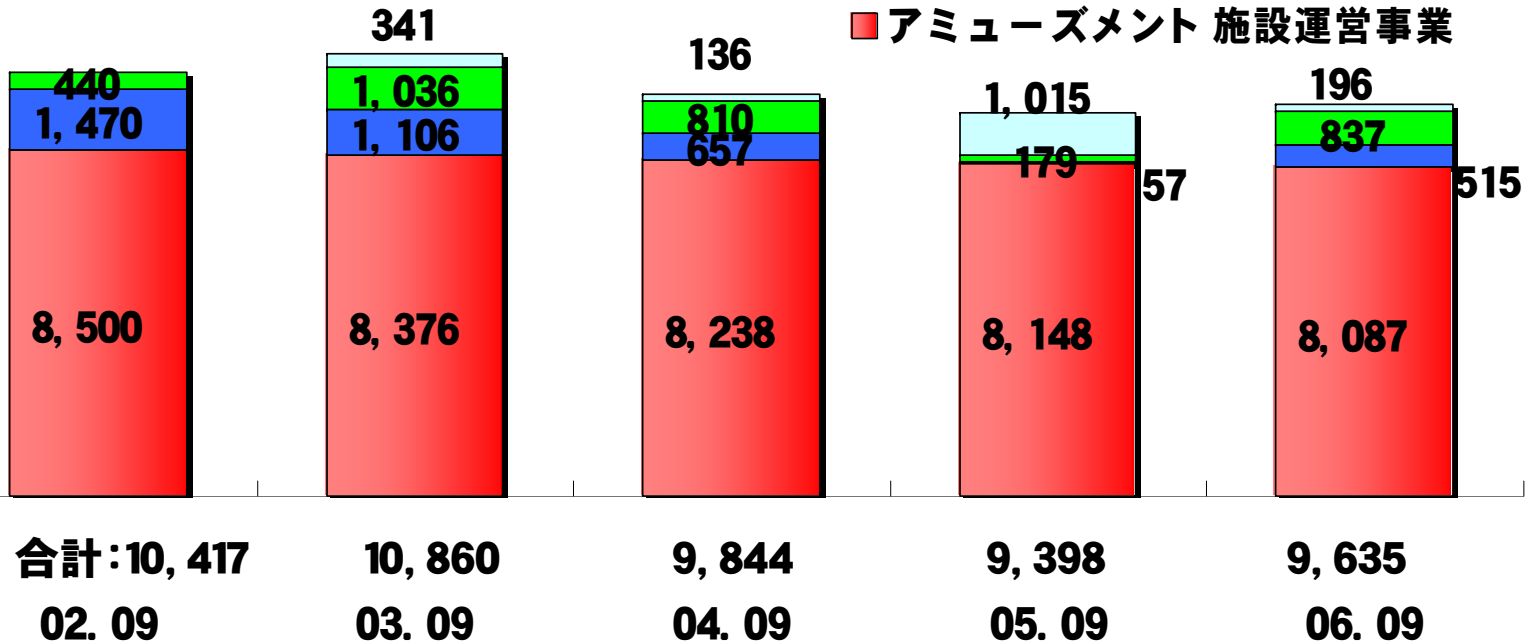


中間決算の概況／セグメント別売上高

中間業績推移

(単位:百万円)

- 不動産事業
- 各種施設開発・設計・施工事業
- パチスロ機・周辺機器レンタル事業
- アミューズメント施設運営事業



中間決算の概況／貸借対照表

貸借対照表

(単位:百万円)

流動資産	10,695	流動負債	8,558
(現預金)	6,821	(短期借入金)	200
		(社債)	900
固定資産	20,272	固定負債	8,677
(有形固定資産)	11,117	(社債)	3,740
		(長期借入金)	4,094
(投資その他資産)	8,806	株主資本	13,721
(うち敷金保証金)	7,206	(資本金)	4,000
		(資本剰余金)	5,856
		(利益剰余金)	4,014
		評価・換算差額等	11
資産合計	30,968	負債及び純資産合計	30,968

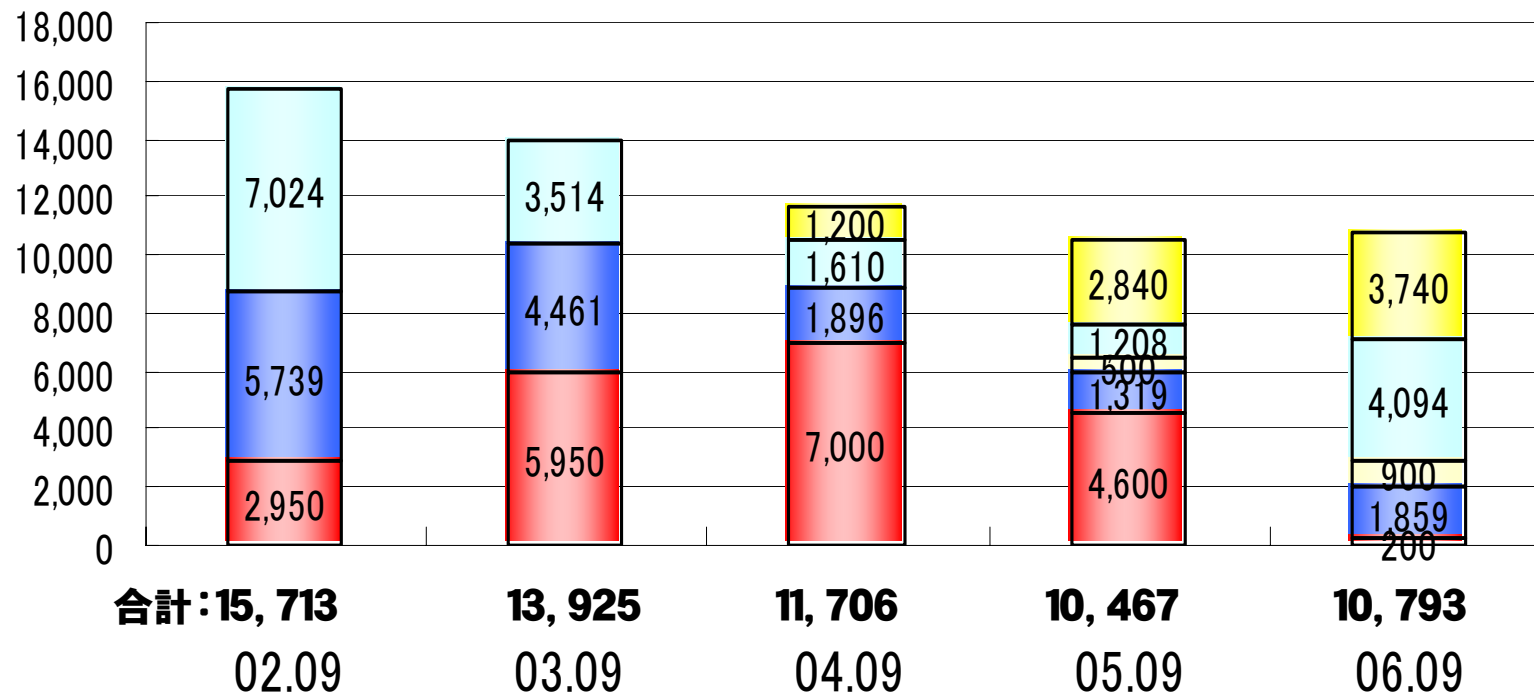
※2007年3月期中間参考資料をご参照ください。

中間決算の概況／有利子負債

有利子負債の推移

(単位:百万円)

■ 短期借入金 ■ 一年内長期 □ 一年内社債 □ 長期借入金 ■ 社債

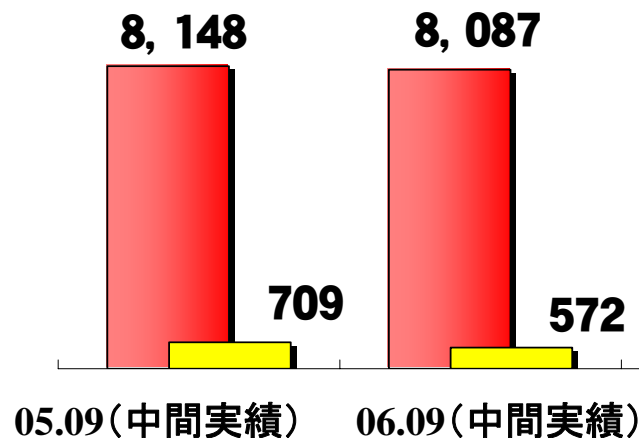


中間決算の概況 / AM施設運営事業 / 売上と利益

売上・利益の推移

(単位:百万円)

- 売上高
- 営業利益



<1Q総括>

ポイント制度の刷新およびポイント還元施策の実行により、ポイントの消費が予想以上に進んだ結果、計画売上を下回る。

<2Q総括>

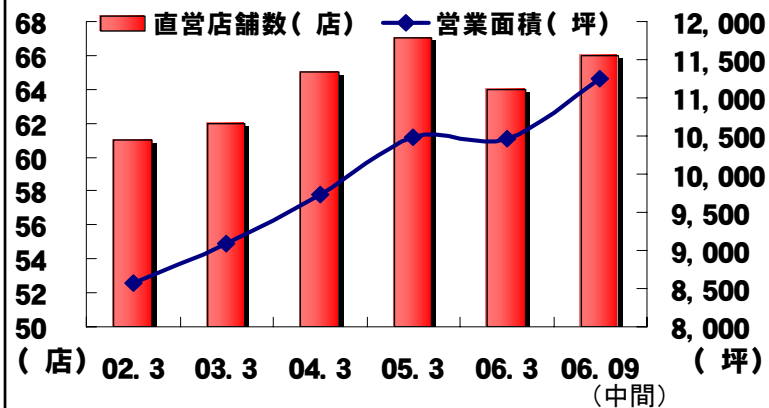
ポイント消費が一段落つき、上期前半のマシン投資効果が表れはじめ、既存店の売上回復が顕著に。

また4月に開店した錦糸町店が予想以上の集客をみせたことが売上を下支え。一方、償却負担も増え、営業利益は未達成となる

中間決算の概況／AM施設運営事業概況／出店閉店等

事業概況トピックス

	2004年3月期	2005年3月期	2006年3月期	2006年9月(中間)
直営店舗数(店)	65	67	64	66
新規出店数(増床)	5(2)	5(2)	1(3)	4(1)
閉店数(店)	2	3	4	2
在客延べ人数(万人)	1,607	1,557	1,590	792
従業員数(アルバイト)	260(753)	253(835)	236(883)	264(890)
営業面積(坪)	9,726	10,486	10,464	11,248
マシン設置台数(台)	9,225	9,273	8,283	8,720



2007年3月中間期出店・閉店の詳細

<出店・増床>

- アドアーズ錦糸町店
- アドアーズカフェ錦糸町店(増床含)
- アドアーズカフェ道頓堀店
- アドアーズ広島駅前店

<閉店>

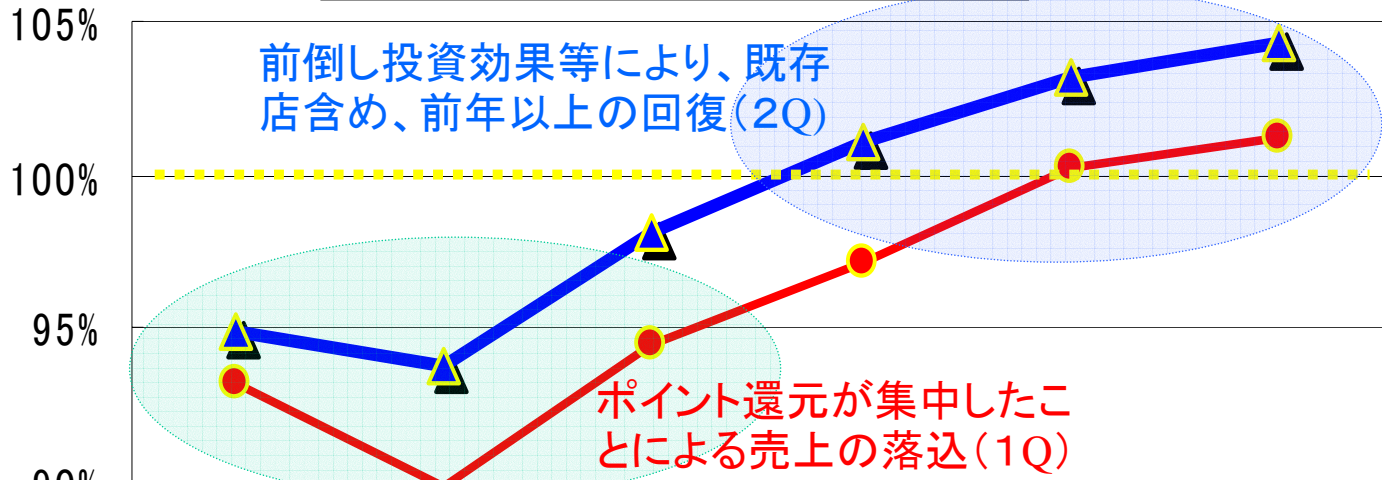
- アドアーズ大宮店
- ゲームファンタジア立川南口店

中間決算の概況 / AM施設運営事業 / 売上高推移

既存店・全店売上高推移

(前年同月対比)

● 既存店総合計 ▲ 全店合計



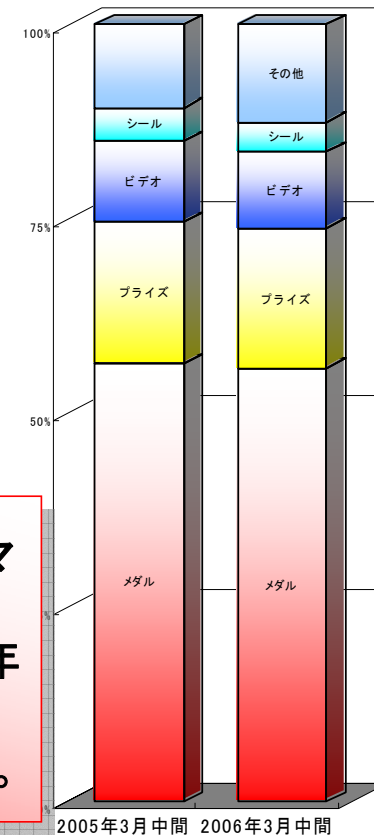
	4月	5月	6月	7月	8月	9月
既存店総合計	93.2%	89.9%	94.5%	97.1%	100.3%	101.2%
全店合計	94.9%	93.8%	98.2%	101.1%	103.2%	104.3%

中間決算の概況／AM施設運営事業／ジャンル別売上

ジャンル別売上高の推移

(単位:百万円)

	05.09 (中間実績)	構成比	06.09 (中間実績)	構成比	前年同期比	増減率
メダルゲーム	3,321	40.8%	3,129	38.7%	-192	-5.8%
パチンコ・パチスロ機	1,274	15.6%	1,380	17.1%	106	8.3%
メダルゲーム計	4,595	56.4%	4,509	55.8%	-86	-1.9%
プライズゲーム	1,488	18.3%	1,461	18.1%	-27	-1.8%
ビデオゲーム	844	10.4%	795	9.8%	-49	-5.8%
AM自販機(プリクラ等)	352	4.3%	303	3.7%	-49	-13.9%
アーケードゲーム計	2,684	32.9%	2,559	31.6%	-125	-4.7%
その他	869	10.7%	1,019	12.6%	150	17.3%
合計	8,148	100.0%	8,087	100.0%	-61	-0.7%



ポイント還元の影響から、メダルゲームは若干減。一方、追加マシン投資効果が優れたパチンコ・パチスロが売上を牽引。2Q以降はアーケードゲームも復調もあり、ポータルフォリオは前年中間期から大きな変動は発生せず。今後、地方・ファミリーターゲット獲得に向け、プライズにも注力。

上期開設の新規店舗／AM施設運営事業

当社最大の旗艦店開設&中国地方初進出



アドアーズ錦糸町店(2006年4月20日開設)

所在地:東京都墨田区太平四丁目1番2号

olinasモール地下1階

年商見込:約7億5千万円

営業面積:450.96坪(約1,490.8㎡)

特徴:当社最大規模店舗であったサンシャイン店を抜き、新たな旗艦店舗として出店。12月下旬、更に増床予定。



アドアーズ広島駅前店(2006年8月31日開設)

住所:広島県広島市南区松原町10番1号

Full Focusビル地下1階

年商見込:約3億5千万円

営業面積:282.7坪(約934.49㎡)

特徴:中国地方への足がかりとして、広島県に初出店。

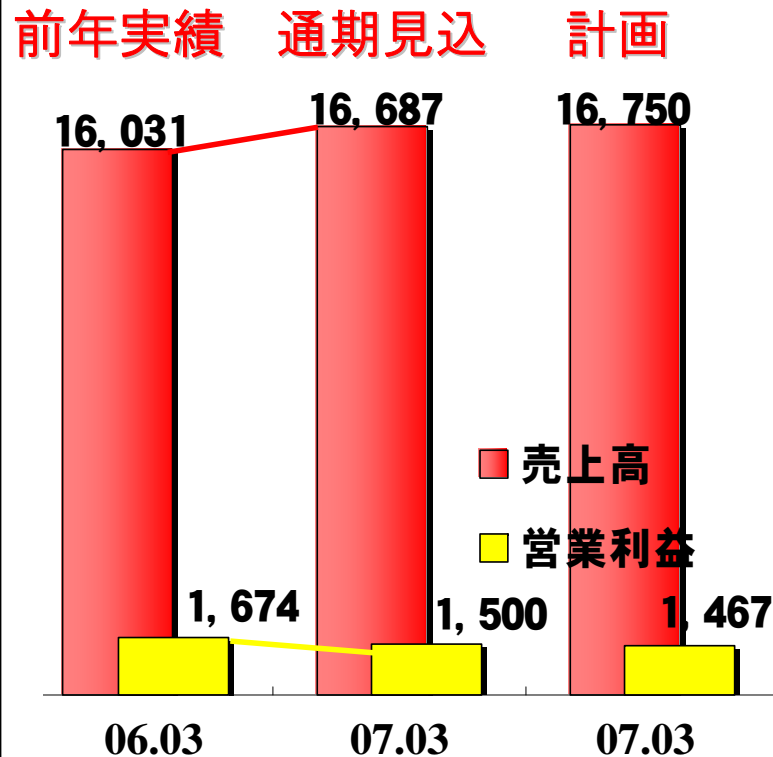
下期は10月に開設したAD西船橋店(千葉県船橋市・265.5坪
年商約3億5千万見込)の他、2ヵ店を開設予定。



通期の予測 / AM施設運営事業

下期の施策および通期見込

(単位:百万円)



- ・新規出店計画5カ店(下期3店舗)達成見込。
- ・マシン投資効果による既存店の回復もあり、第2四半期以降の勢いは持続。
- ・上期後半より開始した効率的な店舗運営による大幅な販管費の削減計画進行中。

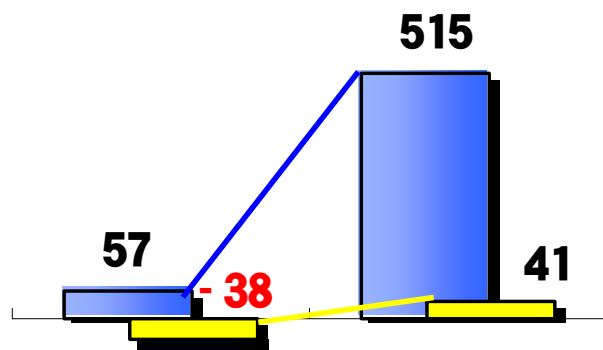
通期予測はほぼ達成見込

決算の概況／レンタル事業／売上と利益

売上・利益の推移

(単位:百万円)

- 売上高
- 営業利益



05.09(中間実績) 06.09(中間実績)

昨年中間期は新レンタルのスタートに遅れが生じたため減益。

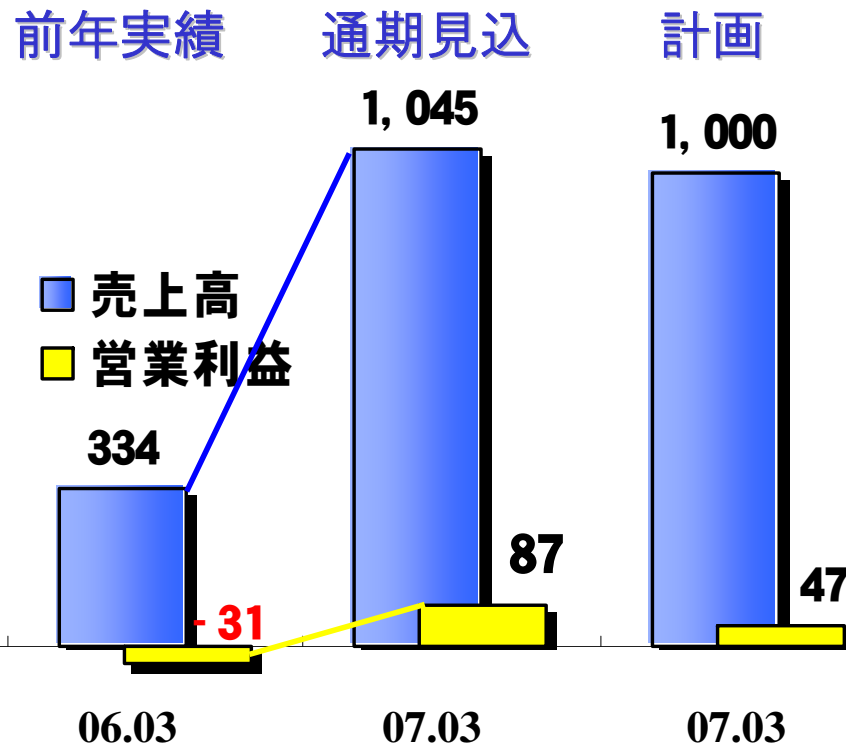
- ・新レンタルの堅調推移
- ・組織体制の強化による与信、債権管理の徹底

中間実績は概ね、計画通りの推移で前年売上比801.8%を達成

通期の予測(レンタル)

下期の施策および通期見込

(単位:百万円)



引続き、レンタル事業の安定化を優先し、債権管理の徹底を重要視。

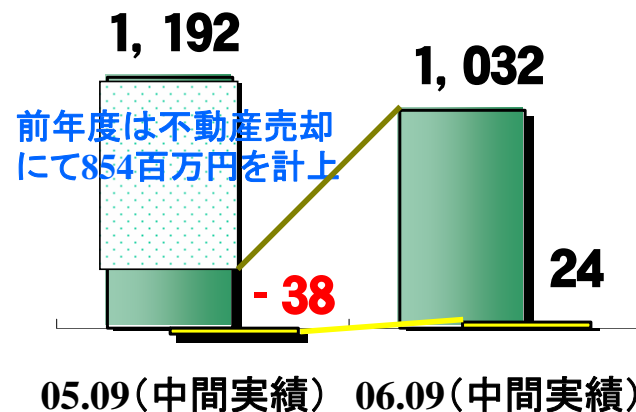
通期予測は、前年比に対して大幅な達成をする見込
期首計画に対しても計画達成する見込

決算の概況／施設開発事業と不動産事業

売上・利益の推移

(単位:百万円)

- 売上高(不動産含む)
- 営業利益(不動産含む)



<施設開発事業>

営業体制の抜本の見直しと与信体制の強化が整い、大幅な受注増。前年度売上比372.3%を達成。

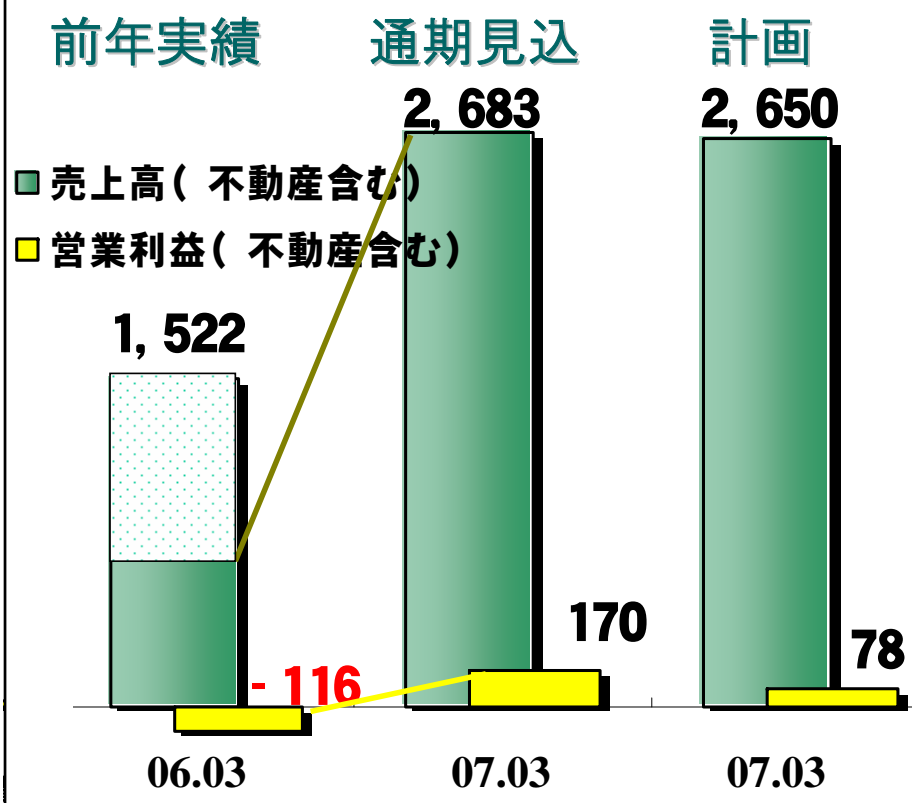
<不動産事業>

前年度売上比△80.8%と減少。但し、前期は一括売却(854百万)による売上増。

通期予測(施設・不動産)

下期の施策および通期見込

(単位:百万円)



<施設開発事業>
・引続き、積極的に受注獲得
・大量の上期受注残に対応できる施工体制の強化
通期予測は、前年比に対して大幅な達成見込、期首計画に対しても達成する見込

<不動産事業>
・概ね期首計画通りの推移
前年売上比は下回るが、期首計画は達成見込

下期及び今後の展望(総括)

上期より取り組んできた改革

- ▶ 経営体制の強化
- ▶ 前倒し機器投資や制度刷新などの積極的な施策

下期から取り組む新たな成長ステージ

- ▶ 守りから攻めへ積極策
 - 高収益体質に向けたスピード経営
 - 高品質サービス維持に向けた人材教育・投資
 - CS(顧客満足)だけでなくES(従業員満足)の向上
 - 内部統制・SOX法対応、コンプライアンスの徹底

下期及び今後の展望／今期・今後の計画(概要)

AM施設

- 新規出店の強化 ～計画5店舗(下期3店舗)必達～
- 高効率運営の強化 ～運営効率向上、大幅コスト削減～
- 教育研修の強化 ～効率経営に耐え得る人材教育～

レンタル

- 債権管理体制の強化による収益性の安定化

施設開発・不動産

- 大量受注残に対応できる施工体制の強化
- 他社との連携、チャネル営業

下期及び今後の展望／全社合計計画・見込

2007年3月期・全社

(単位:百万円)

		2007年3月 中間期(06.09)		2007年3月 下期(予測)		2007年3月通期 (期首計画)	
		金額	前年比	金額	中間期比	金額	前年比
売上高	AM施設	8,087	99.3%	8,600	106.3%	16,750	104.5%
	レンタル	515	801.8%	530	102.9%	1,000	299.3%
	施設開発	837	372.3%	1,450	173.2%	2,250	620.3%
	不動産	196	19.2%	200	102.0%	400	34.5%
	合計	9,635	102.5%	10,780	111.9%	20,400	114.0%
売上原価合計		7,962	104.5%	8,780	110.3%	16,700	114.7%
売上総利益		1,673	94.1%	2,000	119.5%	3,663	110.0%
営業利益		313	47.5%	800	255.6%	1,100	100.2%
経常利益		315	44.7%	785	249.2%	1,100	105.2%
当期純利益		127	77.4%	123	96.9%	250	131.6%

40期下期は上記金額を見込んでおり、期首計画達成に向け、
全社一丸となって取り組む所存です。

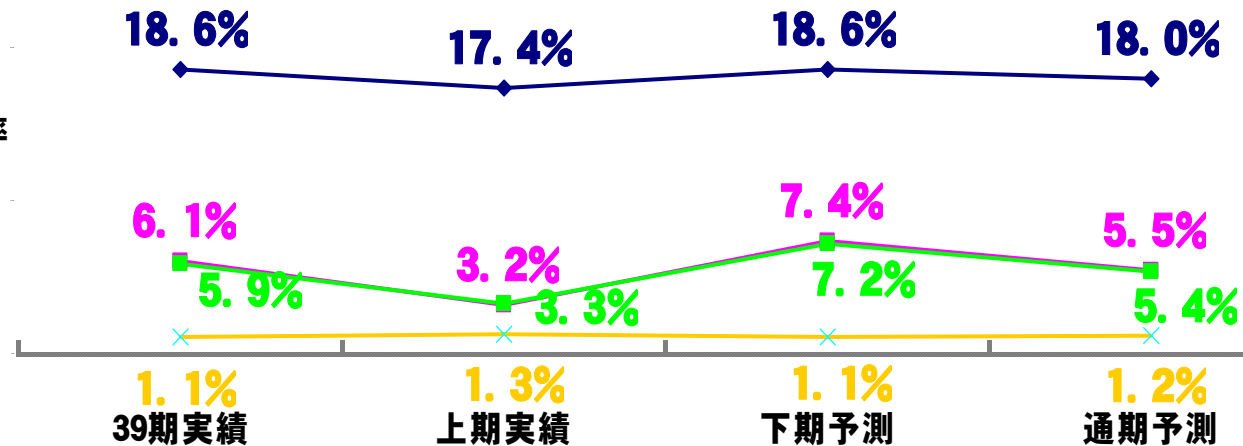
下期及び今後の展望／利益率の推移・見込

中間業績および通期予測・各種利益率推移

	39期実績	上期実績	下期予測	通期予測
売上総利益率	18.6%	17.4%	18.6%	18.0%
営業利益率	6.1%	3.2%	7.4%	5.5%
経常利益率	5.9%	3.3%	7.2%	5.4%
当期純利益率	1.1%	1.3%	1.1%	1.2%

中間業績および通期予測・各種利益率推移グラフ

- ◆ 売上総利益率
- 営業利益率
- 経常利益率
- × 当期純利益率



リスク要因

アミューズメント施設運営事業

- 新店の出店計画
- 既存店の競合
- 特定メーカーとの大型取引
- 風営法への対応

パチスロ機・周辺機器レンタル事業

- 法的規制の影響・中小ホールの債権回収

各種施設開発・設計・施工事業

- 貸倒リスク・信用リスク

その他

- 減損会計

「あなたの笑顔のために」



(注)

この配布資料に記載されている業績目標等は、いずれも当社が作成日現在入手可能な情報を基にした予想値であり、これらは経済環境、競争状況等の不確実な要因の影響を受けます。

したがって実際の業績は、この配布資料に記載されている目標とは大きく異なる場合がありますことをご了承ください。

本資料の問い合わせ先

アドアーズ株式会社 経営企画室IR・広報担当
電話03-5623-1115 E-Mail IR@adores.co.jp